

第1 はじめに

1 自己紹介

福田俊彦（ふくだ・としひこ）

弁護士（第一東京弁護士会所属（新6 2期））

東京大学法学部卒（平成1 5年3月卒業）

慶應義塾大学法科大学院既修者コース修了（平成2 0年3月修了）

旧司受験6回（短答6回，論文2回），新司受験1回（第3回新司法試験受験）

2 短答式試験対策の重要性

司法試験に合格するためには，「基本的な知識を定着させること」が最も重要です。

ここにいう基本的な知識とは，条文（要件と効果），定義，趣旨，判例百選掲載レベルの重要判例の事案と規範に関する知識をいいます。

また，定着させるとは，自分の頭で理解し，記憶し，文章で表現できることをいいます。

司法試験で不合格になってしまう人の多くは，基本的な知識の定着が不十分であるために不合格になってしまっています。

基本的な知識を定着させるために役立つ勉強は，短答式試験対策です。私は，短答で高得点をとることが司法試験に合格する確率を上げるためには必須であると考えたため，目標とする点数を「合格最低点+50点」と決めて，短答式試験対策には力を注ぎました。

具体的には，インプットとして，基本的な知識である重要条文と百選レベルの判例を血肉化させるために，条文を読み込み（音読及び素読），判例百選などの判例集を読み込みました。また，アウトプットとして，旧司の過去問（短答民法と直近の論文式試験の問題）と司法試験の過去問を解き，辰巳のスタンダード短答オープンを受講しました。

勉強をする際には，インプットの時に論文式試験で答案を書くことを意識して必要事項は記憶すること，アウトプットとしての答練を受講する時に時間感覚を意識することが大切です。

今こそ「司法試験」を語ろう。

3 論文式試験対策のポイント

私は、司法試験においては、答案の書き方で得点が相当変わると考えたため、「何を(What)どのように(How)書き、何を書かなかつたら、確実に合格者の平均点(1000番レベル)を取ることができるのか」を、時間をかけて研究しました。

その結果得た結論を5つ記します。

第1に、本番では、どうしても書いてほしいと審査委員が考えている事項が、2つか3つはあるはずなので、それに気が付くことが大切です。それに気が付くことができれば、低い得点が付く可能性は低くなります。問題文のうち、どの事項がどうしても書いてほしいと審査委員が考えている事項であるかは、問題文の長さ又は表現の仕方に現れていることが多いので、そこに注意して問題文を読むようにしてください。

第2に、問題提起をする際には、きちんと条文の条項と具体的な文言を指摘することが大切です。審査委員が聞いていない誤った方向に答案が進まないようにすることが、低い点数をとらないためには必須です。きちんと条文を指摘することが、それを防いでくれるだけでなく、条文の条項と具体的な文言を指摘することが、単なる作文ではない、法律の答案を書くことにつながります。

第3に、後で述べる、法的三段論法を答案できちんと示すことが極めて大切です。実務家の仕事は、法的三段論法をすることに尽きるといっても過言ではありません。したがって、実務家登用試験である司法試験においても、法的三段論法ができることを審査委員にアピールすることが、合格するためには必須です。

第4に、規範定立をする際には、簡潔でよいので必ず理由をつけ、その理由は、できる限り条文及び制度の趣旨から書くようにすることが大切です。条文及び制度の趣旨からの理由づけをすることで、法的思考をすることができることを審査委員にアピールすることができます。

第5に、あてはめをする際には、問題文の事実をただ単に答案に書き写すだけでなく、その事実がなにを意味するのかという評価を、簡単でかまいませんから、自分のことばで書くことが大切です。これを習慣付けることができれば、本試験ではかなりの加点をもらえることが期待できます。

多くの合格者が指摘していますが、司法試験に合格するための最重要文書は、「論文式試験出題趣旨」です。この文書には、論文式試験で合格するために必要な情報がほとんどすべて書かれています。審査委員から受験生への手紙であると思って、試験当日まで繰り返し読んで下さい。

また、「ヒアリング」に関しても、何回か~~は~~読んだ方がよいです。しかし、合格レベルを明らかに逸脱していると思われる高度な要求がされている箇所が少なからずありますので、読む際には注意してください。

それに対して、近年司法試験委員会から出されている「採点実感等に関する意見」については、合格に直結する有益な記載がなされていることが多いので、出題趣旨と同じくらい、繰り返し読んでください。

第2 「すべらない答案」のルール

STEP0 事前準備＝現場での時間の節約

1 全体から部分を考える＝ゴールから考える（いわば結果無価値的発想）

- (1) 書くページ数を配点で割り振って予め決めてしまう。
- (2) 答案構成の時間を予め決めておく。
大問であったら、2時間のうち、30～45分が答案構成の時間になります。そして、残り時間で書き上げます。
- (3) 答案の基本型を予め決めておく。

第1 設問1

1 ○○○について

- (1) 本問の事案の問題提起（具体・個別） → 論点の問題提起（抽象・一般）
- (2) 論点の論証：理由 → 規範定立（抽象・一般）
←この「理由」は、可能ならば、条文の趣旨や基本原理から書きたい。
- (3) あてはめ（ここは、「問題文の事実の引用 → その事実についての自分なりの評価 → 認定」という3段階で書きます。その際、自分なりの評価を書くことが大切です。自分なりの評価を書かないと、単なる問題文の書き写しで終わってしまい、点数が伸びないからです。ここでいう「評価」とは、形容詞や副詞と考えておくと、本質が掴めるかもしれません。）
- (4) 結論（具体・個別）

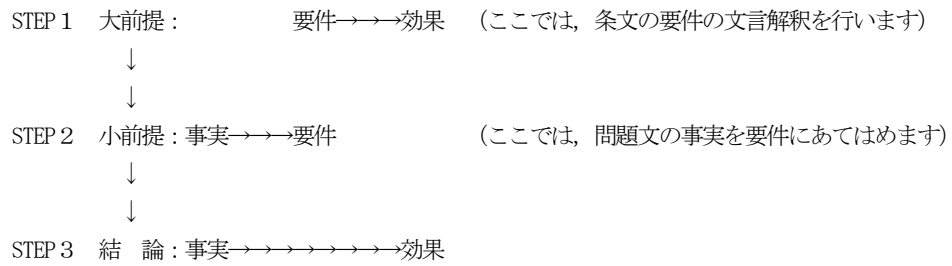
答案をこの基本型で書くと、

- ① 答案がきちんと「具体→抽象→抽象→具体」と流れ、
- ② 自分が設定した問いとそれに対する結論が対応し、
- ③ 規範とあてはめを別個に書くことができ（抽象論と具体論の峻別）、
- ④ 答案を読んでいただく考査委員に予測可能性を与え、自分の体系的理解をアピールすることができます。

今こそ「司法試験」を語ろう。

2 法的思考を示す。

(1) 法的三段論法を徹底する。



STEP 1 問題文の読み方のルール

- 1 最初に、設問を細かいところまで丁寧に読み込んで、聞かれている事項をマークし、頭に叩き込む。
- 2 問題文に誘導があるときの乗り方のルール
- 3 ブロックワーク（問題文を大きなまとまりごとに把握する作業）

STEP 2 答案構成のルール

→2時間で書き切るためには、STEP 2までを30～45分で行う必要があります。

STEP 3 答案の書き方のルール

- 1 難しい問題ほど、形式を整えて守る。決して勝負にはいかない。
- 2 途中答案になることは絶対に避ける。
- 3 条文の条項と文言を必ず正確に指摘する。

今こそ「司法試験」を語ろう。

第3 私がお薦めする基本書及び判例集

(最新版を使用してください。また、編著者の敬称は省略いたします。)

当該科目に苦手意識を持っている方にぜひ手にとってほしい基本書及び判例集を下記に掲げます。下記に掲げた基本書は、当該科目の体系と本質を平易なことばで簡潔に説明しており、また、判例集は、事案と判旨の確に編集したすばらしい本です。

基本書を読む際に注意してほしいことは、3点あります。

- ① 漫然と読まずに明確な目的意識を持つこと、特に、勉強を始めたばかりの頃と本試験直前期においては、本の中身を読むというよりもむしろ、項目を確認する意識をもって読むこと、
- ② 基本的な事項を押さえることを重視し、応用的な事項や細かい議論に深入りしないように注意すること、
- ③ 基本書の目次をコピーして、勉強の際には常に座右に置き、当該法律の体系を常に意識しながら読むこと
(たとえば、大村敦志『基本民法』は、目次が極めて詳細かつ体系的に作られています。そこで、私は、民法の勉強をする際には、条文の目次と大村敦志『基本民法』の目次をコピーした紙を常に座右に置いていました。)

記

1. 勉強法：井藤公量『試験に受かる超効率勉強法』（日本実業出版社）、
同『P&C方式『速攻』司法試験法試験突破術』（辰巳法律研究所）。
2. 全科目（特に、公法系と刑事系） 直近3年分の『重要判例解説』（有斐閣）
3. 憲法： 高橋和之『立憲主義と日本国憲法』（有斐閣）、
戸松秀典・初宿正典編『憲法判例』（有斐閣）。
4. 行政法： 櫻井敬子・橋本博之『行政法』（弘文堂）、
高木光・稲葉馨編『ケースブック行政法』（弘文堂）、
5. 民法： 潮見佳男『入門民法（全）』（有斐閣）、
大村敦志『基本民法Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ（計3冊）』（有斐閣）、
瀬川信久・内田貴等『民法判例集（計3冊）』（有斐閣）。
6. 商法： 神田秀樹『会社法』（弘文堂）、
落合誠一・大塚龍児・山下友信『Sシリーズ1—総則・商行為』（有斐閣）、
山下友信・神田秀樹編『商法判例集』（有斐閣）。
7. 民事訴訟法： 司法協会『民事訴訟法講義案』。
8. 要件事実論：『問題研究要件事実』（法曹会）、
村田渉・山野目章夫編著『要件事実論30講』（弘文堂）。
9. 刑事系：『刑事第一審公判手続の概要』（法曹会）
(入門的な本としては、三井誠・酒巻匡『入門刑事手続法』（有斐閣）もお薦めします。)
石井一正『刑事事実認定入門』（判例タイムズ社）。
10. 刑法： 山口厚『刑法』（有斐閣）、
西田典之『刑法各論』（弘文堂）、
西田典之・山口厚・佐伯仁志『判例刑法総論・各論（計2冊）』（有斐閣）。
11. 刑事訴訟法： 田中開・寺崎義博・長沼範良『刑事訴訟法』（有斐閣アルマ）、
井上正仁・大澤裕・川出敏裕編『刑事訴訟法判例百選』（有斐閣）、
三井誠編『判例教材 刑事訴訟法』（東京大学出版会）。

新司短答本試験・法務省発表データ解析

□法務省発表データから見る短答対策の重要性

		プレテスト	2006本試験	2007本試験	2008本試験	2009本試験	2010本試験	2011本試験
公法系	公法系(満点)	100	100	100	100	100	100	100
	公法系(試験時間)単位:分	90	90	90	90	90	90	90
	公法系(問題数)	40	40	40	40	40	40	40
	公法系(解答番号数)	95	97	89	84	90	89	87
	公法系(ページ数)	26	23	21	22	24	23	22
民事系	民事系(満点)	150	150	150	150	150	150	150
	民事系(試験時間)単位:分	150	150	150	150	150	150	150
	民事系(問題数)	74	71	70	73	74	74	74
	民事系(解答番号数)	75	88	87	87	93	95	95
	民事系(ページ数)	29	27	27	29	31	29	30
刑事系	刑事系(満点)	100	100	100	100	100	100	100
	刑事系(試験時間)単位:分	90	90	90	90	90	90	90
	刑事系(問題数)	40	40	39	40	40	40	40
	刑事系(解答番号数)	82	66	58	55	76	72	76
	刑事系(ページ数)	24	27	27	23	26	23	29
出願者 情報	出願者数	2,160	2,137	5,401	7,842	9,734	11,127	11,892
	受験予定者数	—	2,125	5,280	7,710	9,564	10,908	11,687
	受験者数	1,874	2,091	4,607	6,261	7,392	8,163	8,765
	短答式試験合格者数	—	1,684	3,479	4,654	5,055	5,773	5,654
	短答式試験不合格者数	—	407	1,128	1,607	2,337	2,390	3,111
	対受験者短答合格率	—	80.5%	75.5%	74.3%	68.4%	70.7%	64.5%
	合格者数	—	1,009	1,851	2,065	2,043	2,074	2,063
対受験者最終合格率	—	48.3%	40.2%	33.0%	27.6%	25.4%	23.5%	
点数	最高得点	265	311	329	337	321	315	314
	短答合格者平均点	—	242.9	247.6	267.9	248.5	248.8	241.2
	平均点	166.8	232.9	231.7	250.7	228.1	230.8	219.2
	短答合格点	—	210	210	230	215	215	210

未修者、リベンジ受験生の救世主、福田先生が受講生の期待にこたえてついに登場。

論文 Standard

絶対にすべらない答案の書き方講座 2011

まだ間に合う。あなたを変える最後のチャンス。
 あなたが変わらないと答案も変わらない。
 まずは、弱点をあぶり出す。そして、じっくり修正。
 あせらずしっかり合格軸を確立することを福田先生がきっちりサポート。
 いざというときに頼れる自分を作ろう！

数多くの受験生を救ってきた、普遍的ルール。
 ブロックワーク・T字法・TK決めうち・P'S EYE・・・
 現場で何をどう書くかを段階別にルール化して整理！

相対評価の論文試験では、受験生の多数が気が付き、受験生の多数が書きそうなことをきちんと書けば、間違いなく平均点＝「すべらない」答案となります。そこで、本試験で「すべらない」ために、「実際の現場で問題文と六法を使って何をどのように書くべきか」をルール化しました。問題文の読み方、

論点をはずさない方法、問題文の誘導からずれない方法、答案作成の仕方等を科目別に分かりやすく段階を踏んで具体的にルール化して整理しました。ブロックワーク、T字法、TK決めうちなど即実践可能かつ効果的なルールが満載です。

東京本校 LIVE

12/25 (日)

講座仕様

回数 全5回・16.5時間

科目 公法系・民事系・刑事系

教材 ・講師オリジナル書き方マニュアル
 ・第6回本試験問題・出題の趣旨など
 ・上位・中位・下位再現答案

講師 辰巳専任講師・
 弁護士
 福田俊彦先生



[PROFILE]
 東京大学法学部卒。慶應義塾大学法科大学院（既修コース）修了。旧司法試験の失敗を踏まえ、試験に「すべらない」方法論を確立し、第3回新司法試験では、受験1回で上位合格。「幅広い知識・深い理解」と「論文の方法論」の双方を兼ね備えた実力派講師。司法試験に合格するためには、「何をどのように書くか」を考えるのが大切というのが信条。ベストセラー「絶対にすべらない答案の書き方」シリーズや本試験分析会等のガイダンス、スタンダード論文答練の解説講義で受験生の支持を受け、辰巳法律研究所が誇る人気の講師に。最近では、特に、合格率が一般的に低いと言われる未修者やリベンジ・3回目受験生の救世主としての地位を確立している。

●講師メッセージ

本講座では、論文式試験で確実に合格者平均点を取るための方法論を講義します。
 具体的には、最初に、「本番で何をどのように書けば、確実に平均点を取れるか」という観点から必須事項をルール化した総論レジュメ及び各科目のルールを記載した各論レジュメに基づいて、「すべらない答案のルール」を説明します。その後、第6回司法試験の問題を用いて、具体的な問題文の読み方を丁寧に解説しつつ、上記ルールを実践して成功した上位合格者の再現答案、合格者平均点を取ることができた再現答案及び「すべってしまった」答案を分析することで、本番で上記ルールを実践することができれば、確実に合格者平均点を取ることができ、更に内容を充実させられたら、上位答案も十分に可能であることを示します。勉強はしているが、論文試験の評価が低いという悩める受験生の方に、受講していただきたいです。

司法試験は「正しい」努力を「正しい」方向でした人のみを受からせる試験。司法試験に「すべらない」ために必要なことのみを教えます。「すべらない」答案こそが受験生が目指す答案です。

本講座の狙いは、論文に悩みを持つ受験生を対象に、「本試験当日に知り得た情報（問題文と六法）に基づき、一般的な合格者ならこの問題文から何をどのように書くか」という判断基準で答案を作成するノウハウを伝える点にあります。この方法論を、答練などの実践で繰り返し、どんな問題が出題されても、空気（本試験当日の問題文や回りの平均的な受験生の発想等）を読んで、「すべらない」答案（合格者の平均的な答案）をどの科目でも確実に書けるようになることを目指します。

第6回の新司法試験論文問題や上位・中位・下位再現答案を比較して、直すべきところや真似るべきところを明確に指示。「すべらない」ルールを具体化し、分かりやすく講義。

本試験当日で最も重要なことは、「この問題文から平均的な合格者ならどのような答案を書くか」を的確に判断することです。簡単にいえば、不合格答案を回避することが重要です。本講座では、その判断基準である「すべらないためのルール」を段階ごと、科目ごとに講義します。その後、実際に第6回司法試験論文問題と再現答案を使って、「すべらないルール」を分かりやすく実践的に指導します。

答案の書き方次第で論文の評価は劇的に変わる。経験と実績に裏付けられた確かな答案作成方法論

短答で同じ点数の人が、同じ枚数の答案を書いても、片や合格、片や不合格ということはよくあります。論文式試験は、「書いたつもり」でも、採点官に伝わらなければ、一切評価されない試験です。だから、論文式試験では、「何を」「どのように書くか」が重要です。いかにいえば、答案の書き方次第で論文の評価は劇的に変わります。この講座では、答案作成に至る過程を分かりやすくシステム化し、効率的に答案をアピールする方法論を講義します。自分では、何を書いたらいいのかが分からない、何を書くのかが分かったがどのように書いたらいいのかが分からない、論点は全部書いたのに得点が伸びない、そんな悩みをもたれていらっしゃる方にお勧めです。

●受講料（税込）

お申し込みには講座コードが必要となります。別冊の各講座ページ受講料でご確認の上お申込下さい。

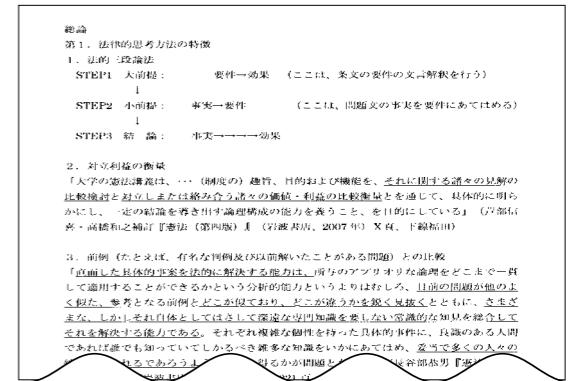
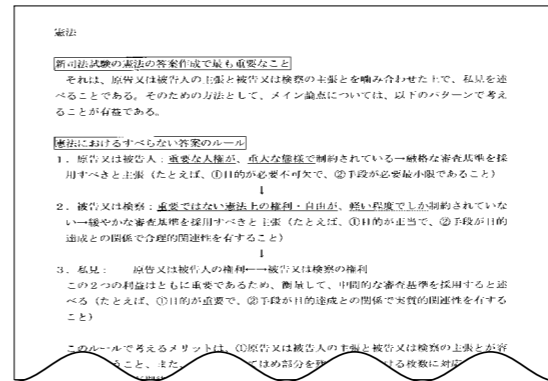
	通学部		通信部	
	LIVE・VTR・VB	カセット・MD・DVD	カセット・MD・DVD	カセット・MD・DVD
一括	¥31,400	¥29,830	¥34,500	¥32,775
総論	¥12,000	¥11,400	¥13,200	¥12,540
各論	¥21,000	¥19,950	¥23,100	¥21,945

体感模試（P.58）と組み合わせたり、各論講義だけを聞いたりとニーズに合わせた受講が可能となっています。

今回は、「すべらない」ルールのインプットに特化した総論講義と科目別に問題文の読み方、答案の書き方を講義する各論講義を分けて受講できるので、今まで「すべらない」を受講したことがある方は、各論だけ受講したり、すべらないルールが身につけているかをチェックすることも可能となっています。

スケジュール&受講料の詳細は、別冊P.31をご覧ください。

教材見本



多くの未修者や受験3回目の合格者から「福田先生に救われた」と大絶賛!!

第6回試験合格者 佐藤 翌さん 明治大学法科大学院（既修者）受験歴3回

再現答案を見てもらった合格者に「根本的に答案の書き方ができていない」と指摘されました。このままでは、次も同じ結果になってしまうと思い、答案の書き方を改善したかったのですが、具体的に何をどのように改善すればいいのか分からず、途方に暮れていました。そんな折に、「すべらない答案」の講座を合格者の先輩に勧められたので、私は、薬にもすがりたくないで、受講することにしました。本講座を受講して、今までの自分の答案がいかにダメだったかということを実感できました。本講座は、**答案の書き方がしっかりとマ**

ニュアル化しており、それが真似しやすいので、本講座を通じて発見された自分の弱点を修正しやすいところが非常に良いと思います。本講座で答案の書き方を学んだおかげで、本試験でも、どんな問題が出題されてもパニックに陥ることなく、**安心して答案を書くことができました**。本講座の効果は間違いありません。もし、本講座を受けていなければ、いつまでも答案の書き方が安定せずに、三振してしまっていたかもしれません。私が3回目に無事合格することができたのは、本講座のおかげだと思っています。

第6回試験合格者 佐藤 浩太郎さん 立教大学法科大学院（既修者）受験歴3回

「すべらない答案」の講義は、私の合格にとって、試験時間中における時間短縮効果、日々の勉強の際における意識改革といった点で不可欠なツールでした。私は、「時間不足」問題にとっても悩んでいました。本講義は、①問題文の事例、設問の読み方、②答案の分量、書式等の大きなフォーマットなどについて、**福田先生の経験に基づく合理的な手法**を教えてくださいました。①の点は、**時間短縮効果を直接発揮**しますし、②の点も、答案作成形式に頭を悩まさず済み時間短縮に役立ちます。これにより、実質的な試験時間が増加し、考える時間が増えるため、答案のクオリティを高めることができるようになりました。

また、私は、文章が長くなってしまい読み手に伝わりづらい表現となってしまう傾向がありました。本講義では、自分の思考過程を伝える効果的な接続詞の使い方を教えてくださいました。接続詞の使い方を定式化し、それにしたがって答案を作成すると決めれば、日々の学習の際も、そのようにアウトプットできる形でインプットすれば良いということが分かりました。そのためには、意識的に基本書等の記述を自分の頭で整理することになります。これは、**論理の流れの「核」を日頃から意識することにつながり、大変有意義**でした。

第6回試験合格者 H・Mさん 慶應義塾大学法科大学院（未修者）受験歴3回

実質的な合格率が20%を切る厳しい状況のなか、淡々と勉強しようとしても不安になってしまうことも多いのではないのでしょうか。基礎知識が足りないのではないかと。方向性がずれていないか。それなりに書いているのに点が伸びない。そんな不安を解消して合格するために、「すべらない答案」の講座が役に立ちました。この講座は、「すべらない」=**適切な合格ラインの設定**、をしてください。それは決して高いものではなく、本来の実力を発揮すれば到達できるものだとして教えていただき安心してできます。また、「答案の書き方」ですが、

講座を通じて合格に必須である**法的三段論法の徹底を図ることができる**ようになります。未知の問題でも、問題に向き合ったうえで「**すべらない**」ルールを守れば**必ず合格答案**になります。さらに、福田先生は講師として白眉です。ご自身は深く幅広く理解されたうえで、**合格に必要な点だけに焦点を絞って**くださいますし、質問にも親身的確に答えてくださいます。私は純粋未修で3回目の受験で不安でいっぱいでしたが、今回無事200番台で合格できたのも、この講座のおかげだと思っています。

総合
Standard

本試験を体感して初めて分かることがある。

2011年 第6回 本試験体感模試

東京本校

12/30(金)～

講座仕様

- 回数 全1回
- 対象 2012年本試験を受験される方で2011年本試験を体感しておきたい方
- 科目
 - 短答式試験
公法系・民事系・刑事系
 - 論文式試験
公法系・民事系・刑事系・選択科目
- 教材 2011年本試験問題
2011年本試験分析会配付資料
- 採点 ●短答式試験
採点あり(個人成績表・得点分布表付)

●受講料 (税込)

通学部	通信部	
辰巳価格	辰巳価格	代理店価格
¥3,000	¥5,000	¥4,750

■論文答案添削のご案内■

	通学部	通信部
	添削料金	添削料金
3系統+選択科目	¥11,500	¥12,000

- ※本体感模試は無料にて実施いたしますが、通学部は資料代、通信部は資料代および製作・発送実費をご負担いただきます。
- ※上記料金には、論文答案の添削は含まれておりません。論文答案添削をご希望の方は上記下欄の論文答案添削をご利用ください。
- ※本体感模試の通学部は定員が設定されている関係上、辰巳各本校のみの受付となります。生協・書店等の代理店ではお申込みになれませんのでご注意ください。

スケジュール&受講料の詳細は、別冊 P.43 をご覧ください。

2011年 第6回新司法試験を完全シミュレーション

4日間にわたって行われる新司法試験と同じ時間割で受験していただきます。知力・体力の総合力が問われる新司法試験を今年の冬に「体感」していただけます。

本試験を体感して初めて実感できることがある

新司法試験はその実施形態が全4日間という過酷な日程で行われる試験です。個々の問題の内容を検討しているだけでは本当の意味での対策は見えてきません。4日間という日程の限られた時間内で解き、書き上げたものだけが評価されるのです。「時間があれば解けた」「腕が疲れていなければもっと多く書けた」「頭が冴えているときなら思っていた」などという言い訳は、本試験では通用しません。2012年度新司法試験の対策は、本来このような実施形態をもふまえて考えられるべきでしょう。2011年度の本試験問題を本試験同様の日程で解くことで、問題の内容・レベル以外の「本試験での危機管理」も射程に入れた対策を始めましょう。

体感模試とすべらないの福田先生 夢のコラボ!

解きっ放しにはしない。復習こそが合格への最短の近道。
ひとりではなかなかできない本試験分析と答案の書き方対策を「すべらない」の福田先生が丁寧な熱血指導。「体感模試」×「すべらない」=∞の効果

受験生の熱い要望に応じて、「絶対にすべらない答案の書き方講座2011」を実施します。今回は、体感模試とコラボすることで、より深い理解が可能となりました。①「すべらない」ルールを総論で理解し、②体感模試で実践し、③各論講義で学んだルールが実践できているかをすぐにチェックし、修正することが可能になっています。また、各論講義では、単なる解説にとどまらない、本試験の問題文の分析や答案の書き方等に踏み込んで講義します。福田講師が明快かつ分かりやすい講義で、第6回本試験問題と再現答案を科目別にじっくり解説、検討します。



総論講義
受講生から圧倒的支持を受ける「すべらない」ルールを総論編・科目別編まとめて6時間でいっせいに講義します。問題文の読み方、答案校正の仕方、答案の書き方などのノウハウをまとめてインプット。合格に向けた正しい学習ができていますかをチェックします。

体感模試
第6回新司法試験を完全シミュレーション。4日間にわたって行われる司法試験と同じ時間割で受験していただきます。そして、総論講義でインプットした「すべらないルール」を実践し、「ルール」の効果を「体感」してもらいます。

各論講義
各科目ごとに本試験の分析と論文の書き方の同時対策を意識した一石二鳥の講義。問題文の読み方を実践した後、何を書けばよかったのか、本試験の分析・解説をします。その後、上位・中位・下位の再現答案を比較して、何をどのように書けば「すべらない」のかを、ルールと絡めて分かりやすく解説します。試験の直後なので、復習効果も抜群です。すべらないルールの浸透度もチェックできます。

絶対にすべらない答案の書き方講座 ～合格者推薦文～

2011年本試験合格者 T.Sさん
東京大学法科大学院(未修) 受験歴 2回

1度目の受験でさんたんたる点数で不合格に終わったときに、その理由は、ほぼすべての答案が実質的な途中答案になっていたり、書いたつもりでもその理解を巧く表現しきれなかったりしたためであると感じました。そこで、2年目に受験に挑むに当たって、論文の書き方を根本的なところから学び直そうと思い、「絶対にすべらない答案の書き方講座」を受講しました。この講座の良いところは、答案の書き方のみならず、問題文の読み方や答案構成の仕方についても、即座に実践できる方法論が、分かりやすく丁寧に説明されているところだと思います。受講してみて、その内容のすばらしさから、1年目の受験時にこの講義の内容をしっかり体得していれば、違う結果になったであろうと歯がゆく思ったほどです。この講座を受講することによって、科目ごとの特性に合わせて、司法試験の答案の「型」を体得することができるようになりました。

絶対にすべらない
答案の書き方講座 2011
(全 16.5H)
通学部 ¥31,400
詳細は P.32

●すべらない→体感模試→すべらない 東京本校 LIVE 日程 充実の年末年始を過ごす!

※他の本校・通信部の日程は別冊のスケジュール冊子にてご確認ください(体感模試 P.58/ すべらない答案 P.32)。

12/25(日)	12/30(金)	12/31(土)	1/1(日)	1/2(月)	1/3(火)	1/4(水)
	論文 選択科目 9:30~12:30	論文 民事系第1問 10:00~12:00		論文 刑事系第1問 9:30~11:30	短答 民事系 10:30~13:00	すべらない2011 各論刑事系 10:00~13:10
	論文 公法系第1問 13:45~15:45	論文 民事系第2問 13:15~15:15	元旦の誓い (無料) 16:00~17:00	論文 刑事系第2問 12:45~14:45	短答 公法系 14:30~15:45	すべらない2011 各論民事系 14:30~19:20
すべらない2011 総論1 14:00~17:10	論文 公法系第2問 16:30~18:30	論文 民事系第3問 16:00~18:00	毎年恒例、 辰巳所長の 戦略ゼミ		短答 刑事系 16:30~18:00	
すべらない2011 総論2 18:00~21:10					すべらない2011 各論公法系 18:30~21:40	